

平成30年度事業計画

本協議会の設立趣旨に基づき、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取り組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応じていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

1. 社会的発信力の向上

- 1) 依然として続く厳しい学生募集環境や、福祉人材の育成・確保に関する課題、福祉職の地位向上に関する問題の解決に向けて、社会的にインパクトを持ち、会員校が一致して取り組むことができる事業の検討を進め、実施する。【総務・企画委員会】
- 2) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。
【総務・企画委員会】
- 3) 協賛する「ソーシャルワーカーデー中央集会」をはじめとし、ソーシャルワーカーの認知度及び地位向上の取り組みについて、関係団体・省庁等と連携をして進める。
【総務・企画委員会】

2. 各委員会の取り組みについて

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎平成30年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- ・各委員会と連携し、取り組みの発信を強化していく。
- ・昨年度に引き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。あわせて、今年度は社会福祉士養成課程の見直しに関わる課題についても、研究活動・教育向上委員会と連携して取り組みを進める。

2) 研究活動・教育向上委員会

- ・社会福祉士養成課程見直しに関する情報の収集、及び会員校への情報の提供を行い、

会員校の意見をふまえて、必要に応じて意見提出を行う等関係機関と調整を図る。
あわせて、社会福祉専門職養成教育の充実、認定社会福祉士制度への対応課題等についても取り組んでいく。

3) 就職委員会（別紙 1 参照）

- ・昨年度に引き続き、就職担当者向けの情報交換会を開催し、就職支援に向けた情報共有、意見交換を行い、就職支援諸施策の充実を図る。なお、情報交換会の時期ならびにテーマは、事前アンケートをふまえて計画する。

4) 学生募集戦略検討委員会（別紙 2 参照）

- ・昨年度開催した勉強会（2回）をふまえて取りまとめた「平成30年度からの福経協学募共同事業計画」の取り組み初年度として、下記の事業を実施する。
 - WEB上に福祉系大学経営者協議会のプラットフォームを作成し、個々の大学の学生募集事業とも連携を図り、福祉系学部・学科の認知度向上、学募回復に繋げる事業として推進する。
 - 「福祉」に対するマイナスイメージを払拭し「福祉」が持つ価値をPRするために報道関係者等との懇談会を実施する。
 - 昨年度と同様2回の勉強会を実施し、その際に事業効果を検証し、あわせて次年度以降の実施計画を検討する。

5) 大規模災害対応委員会（別紙 3 参照）

- ・東日本大震災や熊本地震等での会員校の経験をふまえ、大規模災害時における福祉専門職の役割や大規模災害時に福祉系大学が地域において果たす役割等も視野に入れ、福祉系大学の今後の大規模災害対策と支援について学び合う委員会として昨年度活動を開始した。また、大規模災害が発生した際の会員校同士の相互連携・協力のあり方や具体的支援の方策、そのための事前準備等についての検討を進める役割を担っている。
- ・上記の役割をふまえ、今年度は下記の調査を実施する。
 - 防災及び災害支援に関する地域貢献活動実態把握調査の実施
防災及び災害支援に関する地域貢献活動実態を把握するため、加盟25校を対象にアンケート調査を実施する。書面でのアンケート調査結果をふまえて、聞き取り調査を実施する。
 - 大学間連携の調査の実施
社会福祉士養成の観点から、被災後の大学の対応（学生の安否確認、実習先の調整、休講による補講対応等々）について調査する。調査対象校は、東北福祉大学、熊本学園大学、国際医療福祉大学を予定。

以上